

山県9秒95 日本新

陸上男子100メートル 日本人4人目9秒台

陸上男子の山県亮太(28)が6日、鳥取市のヤマタスポーツパーク陸上競技場で行われた布勢スプリントの100メートルで、9秒95の日本新記録を樹立

短縮した。記録が公認される上での追い風2・0メートルの好条件の下、2019年にサンブラウン・ハキーム(22)がタンブルウィードTCIIがマークした9秒97を0秒2

山県亮太の話 9秒台をずっと出したいと思ってやってきましたので、出せてよかったです。五輪を狙う上で、勝負という意味でも外せない試合だと思っていました。その中で勝って、またタイムもついてきて本当によかった。勝負は五輪だと思っ

陸上男子100メートル歴代上位 勝負は五輪

1	9秒95	山県 亮太
2	9秒97	サンブラウン・ハキーム
3	9秒98	小池 祐貴 桐生 祥秀
5	10秒00	伊東 浩司
6	10秒01	多田 修平
7	10秒02	朝原 宣治



17年に桐生祥秀(25)が本生命IIが初めて「10秒の壁」を破った日本男子で、サニブラウン、小池祐貴(26)が住友電工IIに続く4人目の9秒台。17、18年の10秒00が従来の自己ベストだった。過去2度の五輪では準決勝に進出。近年はけがなどで苦しんできたが、復活を果たし東京五輪代表選考会となる日本選手権(24日開幕・大阪市)に臨む。

来月23日に開幕する東京五輪では、花形種目で日本人89年ぶりの決勝進出や400メートルリレーの金メダル獲得に期待が膨らんでいる。

男子100メートルの世界記録はウサイン・ボルト(ジャマイカ)の9秒58。

男子1000メートル決勝 9秒95の日本新記録をマークして優勝した山県亮太(右から2人目)。右端は東京五輪の参加標準記録を突破する10秒01で2位の多田修平

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

なまえ【 】

①陸上布勢スプリントの男子100メートル決勝で、日本

記録を樹立した選手の名前と記録を書きましょう。

②東京五輪参加標準記録を突破し、2位に入った選手の名前と記録を書きましょう。

③これまでに陸上男子100メートルで9秒台を記録した日本選手の名前を書きましょう。

④陸上男子100メートルの世界記録を持っている選手の名前と記録を書きましょう。

⑤東京五輪代表3枠を争う日本選手権が6月24日に開幕しますが、上位3人に入る選手を

予想してみましょう。